

科目名称	基礎看護学方法論Ⅱ(日常生活行動を整える援助)	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期	1	30
担当教員	平岡 ゆかり 大北 米香	授業に関わる 実務経験	☒ 有 (看護師) ☐ 無	

【1】授業概要

日常生活援助技術の原理・原則を学び、対象のニーズに応じた科学的根拠に基づいた日常生活援助が実践できる。

【2】学習目標

- 1.人間にとっての環境の意味を理解し、健康的な生活環境を整えるための知識と援助方法が説明できる。
- 2.日常生活における活動の意義を理解し、効果的な活動への看護技術を習得できる。
- 3.人間の基本的な姿勢と体位が理解でき、援助方法が説明できる。
- 4.休息・睡眠の必要性を理解し、安楽安眠への看護技術を習得できる。
- 5.身体の清潔の意義を理解し、対象に応じた援助方法について説明できる。
- 6.衣生活の意義を理解し対象に応じた援助技術について習得できる。
- 7.食事・栄養の意義を理解し、対象に適した援助技術を習得できる。
- 8.排泄の意義を理解し、対象に応じた援助技術を習得できる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間の理解
- ☒ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- ☒ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- ☒ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- ☐ 5. 多職種との連携・協働
- ☐ 6. 地域医療の理解と生活の支援
- ☒ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

17 授業計画	内容	主な授業形態	教員
1	基礎看護学方法論Ⅱの授業概要・環境調整技術①	講義	平岡ゆかり
2	環境調整技術②	講義	
3	活動・休息援助技術①	講義	
4	活動・休息援助技術②	講義	
5	睡眠と休息の援助技術	講義	
6	皮膚の機能、清潔援助の基礎知識	講義	大北 米香
7	衣生活の基礎知識と寝衣交換	講義	
8	食事の意義とアセスメント	講義	
9	嚥下障害のある患者の援助	講義	
10	自然排尿および自然排便の基礎知識とアセスメント	講義	
11	排尿を促す援助	講義	
12	排便を促す援助	講義	
13	演習計画書を基に演習	演習	
14			
15	筆記試験・まとめ		

【5】評価方法

科目評価は、筆記試験(1～5:30%、6～14:40%)、レポート内容(30%)、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。

【6】教科書

系統看護学講座 基礎看護学 3 基礎看護技術Ⅱ, 第17版, 医学書院, 2020

【7】参考書

佐藤久美他;看護技術が見える①, ②, メディックメディア, 2015

任 和子他;根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術,第2版,医学書院, 2017

大久保暢子編;日常生活行動からみるヘルスアセスメント,第1版,日本看護協会出版会, 2016

【8】受講生へのメッセージ

授業前には、シラバスに明記している各回のテキストページを事前学習して授業に臨みましょう。
演習時は、事前に配布された手順書（目的・留意点・根拠を含む）を作成して臨みましょう。